

# おじいちゃんのパン

ここは、おうちのちかくの、かわいいおみせ。

ママは、ここのでコーヒーをのむのが、大好き。

あたしはいつも、ここのでおいしいパンをたべるの。





あまくて、ふわふわで、  
なんだか、きもちも  
ふんわりして、  
おかがニッコリしちゃうのよ。

ふわふわのパンをやっているのは、  
やさしいおじいちゃん。  
パンもおじいちゃんも  
だいすきでときどき、  
ママにないしょで、  
あそびにいくの。

おじいちゃんは、あたしがひとりで、おみせに  
きても、いつもおいしいパンをたべさせてくれた。  
かえるときには、いつも、「またおいでね」って  
いつてくれるの。

だけど、あたしは、おともだちが たくさん  
できて、だんだん、おみせに いかなくなったんだ。





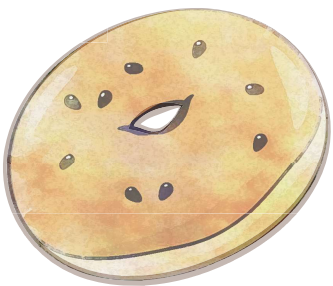
あるひ、ひさしぶりに、おみせにいったの。

おみせにいくと、おじいちゃんはいなくて、  
おじいちゃんに、おかおがそっくりなおばちゃん  
がいた。

「こんにちは！おじいちゃん、いますか？」

おばちゃんは、ゆっくり、こういった。

「おじいちゃんには、もうあえないの。あなたがきたら、パンをあげてね、って、いわれたのよ。おばちゃんがやいたパンだけど、たべてくれるかな？」



おばちゃんのパンは、あまくて、ふわふわで、なんだか、きもちは、ぎゅっとして、なにかをがまんしたくて、おかおにグツと、ちからをこめた。

おばちゃんのパンだけど、おじいちゃんのパンの  
あじがした。

「おばちゃん、あたしにパンのつくりかたを、  
おしえてくれる？ もっとおおきくなったら、  
ここでパンをやきたいな。」

おばちゃんは、うれしそうにわらった。

「おじいちゃんのパン、いっしょにつくろうね。」



絵本製作 あかえほ

イラスト TAE(イラストACC) / ちびこママ

※ 絵本の二次利用・再配布・転載はできません